

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

# しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2012年度 Vol.1

## しながわ ECO フェスティバル 未来につなぐパートナーシップ



5月27日(日)、晴れわたった青空で強い日差しのもと、最高のECOフェスティバル日和になりました。今年もしながわ中央公園をメイン会場として「しながわECOフェスティバル2012」が開催されました。

濱野区長の挨拶の後、資源リサイクル活動等を推進してきた25団体に対し感謝状と記念品が贈呈されました。

### ●ステージアトラクション

恒例のステージアトラクションは今年も健在です。

お茶犬 環境「ほっ」とバラエティに始まり、和太鼓演奏、eco実験パフォーマン



スショー、創作竹楽器演奏、絆ファッションショー、吹奏楽演奏、ごみの中からこんなもの展・抽選

### ●くらしを守る青空市

品川区消費者団体連絡会主催による青空市では、「新鮮なもの 安全なものを即売！」ののぼりが、野菜や果物を求めるお客さんを呼んでいました。



### ●ごみ、資源回収



に分別回収されていました。

エコ容器、生ごみ、割りばし、燃やすごみ、びん、カン、ペットボトル、陶器・ガラス・金属ごみなどが、使った人(お客さん)や高校生のみなさんの協力によって、きれい

また、今年も国産間伐材・端材から出来た割り箸を1膳10円で販売し、その売り上げは東日本大震災復興支援の義援金になります。

### ●再生園芸土の無料配布及び不用園芸土の回収

最近では花を愛でる、野菜を育てる方が多く、皆さん列を作って配布を受けていました。



### ●「エコな車」乗車体験

地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>、大気汚染の原因となるNO<sub>x</sub>(窒素酸化物)などを走行中に一切発生させない「電気自動車」、水しか排出しない静かな次世代エコカー「燃料電池車」の乗車体験がありました。また「電気自動車のカーシェアリングでエコ対策」という紹介もありました。



### ●太陽エネルギー見本市

太陽光利用機器システムや高効率機器の紹介、住まいの省エネ相談、区・都・国の補助制度の紹介があり、相談や熱心な話し合いが行われていました。



公園会場における使用電力はすべて自家発電で賄われました

# スポーツGOMI拾い大会 in 大井

5月20日(日)「2012年度スポーツGOMI拾い大会in大井」が開催され、約100チーム(5名/チーム)500名が大井町駅前中央通りに集まりました。

この企画は「環境美化」「3Rの推進」に重点を置いた、行動変容を促すプログラムで、ごみ拾いを「環境奉仕活動」から「スポーツ・競技」へ変換することにより、参加者同士が楽しくスポーツとしてごみ拾いを行うことを通して、参加者の環境に対する意識を向上させようとするものです。

競技時間60分の間に、指定されたエリア(大井サンピア商店街、大井銀座商店街、大井光学通り商店街)内で拾ったごみの



質と量を競うものです。ごみにはそれぞれポイントが決められており、たばこの吸い殻は100g(以下同じ)で100pt、ビン・缶・ペット

ボトル、燃えるごみは10pt、燃えないごみは5ptなどです。スポーツチームのユニフォームを着たチームが多く、きびきびしたグループ行動が、スポーツ大会であることを一層強く印象づけました。



## 自然エネルギー探訪記

### 第1回 太陽光発電 ユーザー体験記(3年間の発電記録)

自然エネルギーと聞いて、一番身近に感じられるのは、太陽光発電ではないでしょうか。最近、「この4月末に、国内の住宅用太陽光発電システム設置は100万件を突破した」と報道されました。品川区内のあちこちの公園では、照明と一体の太陽光パネルをたくさん見かけます。



我が家でも3年前に4.05kWの太陽光発電システムを取り付けました。実際にどんな効果、効用があったのか、ユーザー体験記を少しご披露したいと思います。

- 取り付けてみて大いにメリットだと実感したのは、
- ①震災などによる長期停電時でも、お日様が出ている時間には最大1.5kWまで電気を自給できる安心感がある
  - ②昨年の電力供給不足時、節電ピークカットに貢献できたこと。真夏の昼間の冷房用電力は東京電力から買わずに自給。更に発電余剰分を売電供給できた
  - ③付属の液晶モニターがスマートメーターになり、電力消費が“見える化”。昨年1年間で25.3%節電達成
  - ④「ナイト10」という昼間高く、夜安い電力契約に変更し、節電型生活リズムに変えたことで、昨年1年間だけでも前年比で約2万2千円の電気代節約等です。
- 全てやってみなければ分からないことばかりでした。

設置費用は補助金を引いて、自己資金分が約210万円。売電収入と買わなくて済んだ電気代の過去実績をもとに投資回収予想期間を計算すると、17年になります。寄せ棟屋根に無理に多くのパネルを設置し過ぎたことや、木陰による季節的な発電低下のために、少し成績が悪いかもしれません。しかし、今後の電気代高騰やCO<sub>2</sub>削減の環境価値販売による回収期間前倒しが予想されますし、今のところ故障も全くなく、前述の①~③のプライスレスなメリットを加味して考えていますので、私自身は十分満足しています。



(環境記者 林 彰一 氏)

# 継続は力ない

## しながわ環境大賞受賞団体、その後の活動

昨年度のしながわ環境大賞を受賞した3団体に、受賞後の活動について伺いました。各団体とも受賞した活動は完全に定着しており、地域の環境保全に貢献しています。

### 「山中おやこエコクラブ」 今年度の活動スタート

5月19日(土)、今年度の「山中おやこエコクラブ」がスタートしました。当クラブでは、自然と触れ合うイベント企画や学校の屋上菜園の管理作業などを行うことにしています。

はじめに山中小学校田邊校長先生から、この活動を学校の中心イベントの一つにしたい旨の話があり、活動紹介に続き、屋上菜園でトマト、きゅうりなど夏野菜の苗植えを行いました。



平成21年度から継続しているこの活動は、今年度も毎月1回土曜日の午前中、主に校庭や屋上菜園で身近な自然に親しみ、環境にやさしい活動を行うことにしているとのことでした。



子どもたちには、自然とかがわることにより環境を思う気持ちを育むとともに、危険だからダメとは言わないで、やりたいことをさせてあげたいといった話もありました。

### 西中延三丁目町会の資源回収活動

大賞授賞式で活動報告をされた新居崎さんから、受賞後の資源回収活動状況を伝えていただきました。

しながわ環境大賞受賞によって何か大きな変化があったということはなく、その後も毎月3回行っている、新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶の回収は淡々と続いています。ただ、資源を集積し提供してくれる町会員の対応が少し変化しているようには思います。例えば、回収日まで、家や庭の一面を埋めてしまうほど多くの資源を貯めておいてくれる町会員や、集積場へ直接持って来てくれる町会員が増え



### ジュネーヴ平和通り歩道の 清掃活動

5月14日(月)、株式会社日立ソリューションズのみなさんが、就業後にジュネーヴ平和通り歩道の清掃活動を行いました。

この活動は通常は月2回行っていますが、新人の参加が多いこの時期は毎週行っているとのことでした。当日は新入社員を中心に21名が参加し、歩道に落ちているごみ、ツツジの咲く歩道の植え込み周辺や車道脇の側溝などのごみを、トングを使って丁寧に拾いました。



活動に参加した理由を新人の方に聞いてみたところ、「この活動を通じて会社周辺の街を知ることができる」、「会社がやろうという行事に参加するのは当然」など、頼もしい声も聞かれました。さらに「意識して見るとごみは結構落ちていることが分かった」というように、目的を持って行動すると新たな事実が発見できることも身体で知ることができたようです。

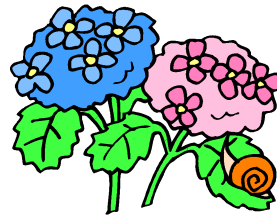


ています。そのこともあり、集積場は以前より多くの資源が集まり、平成20年～23年の月平均実績は4万5千円～5万5千円でしたが、4月の回収実績は6万2千円を超えました。この状態が定着するのかどうかは予断を許しませんが、受賞を契機に町会員の資源回収への注目度が増し、回収に対する意欲が一層高まっていることだけは確かです。

また、回収資金の運用に関する町会細則を整備し、より積極的に町会員のために資金を使えるようにしたことにも変化は現れていると言えます。



# アジサイの不思議



アジサイの美しい季節になりました。瑞々しく繊細な色合いが目を楽しませてくれます。今回はアジサイの不思議に迫ってみましょう。

★アジサイの花は、七変化といわれるように咲いているうちにだんだん色が変わっていきます。何が起きているのでしょうか。

私たちが花と思っているのは装飾花といわれる萼(がく)の部分です。アジサイはガクアジサイが変化したもの、このガクに額を当てる表記を見ますが、花を引き立てる額縁と見立てたのでしよう。アジサイはヨーロッパに渡って品種改良が頻繁に行われ、セイヨウアジサイとして逆輸入されました。今までにないあでやかな色がもてはやされ、現在植栽に多く使われています。



花は初め白っぽく、うすい緑色です。それが色付き、時間がたつにつれ色鮮やかになり、そしてだいに色あせていきます。細胞の老化によって色が変化するのです。

★同じ株に咲いているのに花によって色が違うことがあります。どうしてでしょう？

花の色はアントシアニン、助色素、アルミニウムの三つが関わります。アントシアニンの研究から、花の一個一個の細胞ごとに色が違うことがわかってきました。色素の発色を助けて安定化させる助色素の働きも必要です。またアルミニウムは色の発現の重要な要因となるようです。同じ株でも色が違うのは、細胞レベルの話といえるでしょう。

通常、酸性土壌では青、アルカリ土壌ではピンクとなります。日本は火山地帯で雨も多く弱酸性の土壌なので青系が主流です。



## 環境情報活動センター 環境学習講座開催予定

### ●風力発電機を作ろう

(小学生と保護者)

ペットボトルで作った羽根車に風を吹きつけて発電機を動かし、モーターを回します。再生可能エネルギーの風力発電の工作と実験をします。

日時／7月8日(日)14時～16時

### ●地球の温暖化とエネルギー問題

(一般)

温暖化は人類のせいでしょうか。原発事故でにわかにエネルギー環境が変化している昨今、環境問題とエネルギー問題についての話です。

日時／7月13日(金)14時～16時

### ●牛乳パックで「はがき」を作ろう

(小学生と保護者)

森林資源の話や紙パッキリサイクルの仕組みなどを勉強しつつ、手すきはがき作りを体験します

日時／8月10日(金)13時30分～16時

### 夏休み

### こども環境学習講座

#### ①生きもの博士になろう

自然とのふれ合いから生きものについて楽しみながら学び、エコな作品を作ります。

日時／7月22日, 23日, 30日  
(13時30分～15時30分)

#### ②キッチンからはじめるエコロジー

身近な食を通して、楽しみながら環境について学びます。買物・調理・片付けなどすべての内容で環境に配慮した料理を作ります。

日時／8月1日, 2日, 3日  
(14時～16時)

#### ①②共通

対象／小学生

(3年生以下は保護者同伴)

講座の名称はいずれも仮称です。

応募方法等については「広報しながわ」や「品川区環境情報活動センター」のホームページに後日掲載します。

### しながわECOだより2012年度Vol.1

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成24年6月22日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています